

朝鮮半島の核問題と日本の対応

1 講演内容

北朝鮮の核ミサイル開発の経緯とそれを背後で支えてきた中露の動きを分析し、日米（韓）政府による「朝鮮半島の完全な非核化（CVID）」の実現可能性を疑問視する動きとともに、欧米で頭をもたげる日本核保有容認論をも踏まえ、日本の核保有を含めた核政策・核戦略のあり方について広範かつ明快に論じます。

2 講師： 矢野 義昭 （やの よしあき）

京都大学工学部、同文学部卒。 修士（社会科学）、（学術）及び博士（安全保障、拓殖大学）の学位を取得。

陸上自衛隊第1師団副師団長兼練馬駐屯地司令などを歴任。 小平学校副校長をもって退官（陸将補）。元拓殖大学客員教授、現在、岐阜女子大学特別客員教授、東京工業大学客員講師。

2014年にフランス戦争経済大学において中国の軍事力について共同研究。

著書として『日本は北朝鮮の核ミサイル200基の射程下にある』『核の脅威と無防備国家日本』『危機管理対策必携マニュアル』など多数

3 日時： 12月11日（火） 14:00～16:00 （開場： 13:40）

4 場所： ホテルグランドヒル市ヶ谷 2F 白樺（東）の間

5 参加費： ￥ 2,000

6 申し込み： e-mailでの申し込み

- ・宛 先： renraku@ssri-j.com
- ・記入要領： 住所、氏名、e-mailアドレス、（勤務先及び役職名）
- ・受講定員： 先着60名（満員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます）
- ・その他： セミナー修了後に講師を囲む懇親会（会費制）を計画しています。

セミナー申込時に懇親会への参加の是非もご記入ください。